



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 三光産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 阿部 雅弘

TEL 03-3403-8134

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	10,547	0.7	15		115		133	
2020年3月期	10,624	5.1	24		8		393	

(注) 包括利益 2021年3月期 52百万円 (%) 2020年3月期 504百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	21.48		1.7	1.0	0.1
2020年3月期	63.55		4.9	0.1	0.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	12,046	7,813	64.9	1,261.60
2020年3月期	11,277	7,791	69.1	1,258.12

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,813百万円 2020年3月期 7,791百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	147	44	248	2,469
2020年3月期	242	250	447	2,431

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		5.00	5.00	30		0.4
2021年3月期		0.00		5.00	5.00	30		0.4

(注) 2022年3月期の配当予想につきましては、今後、予想可能となった時点で連結業績予想とあわせて開示いたします。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

現段階において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が連結業績に与える影響を合理的に算定することはできないと判断し、2022年3月期の連結業績予想につきましては、未定とさせていただきます。今後、業績への影響が合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	7,378,800 株	2020年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,185,857 株	2020年3月期	1,185,857 株
期中平均株式数	2021年3月期	6,192,943 株	2020年3月期	6,192,943 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	8,819	11.7	18	83.8	144	21.0	188	
2020年3月期	9,987	10.1	115		119	107.5	531	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	30.36	
2020年3月期	85.78	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	11,081		7,601		68.6		1,227.41	
2020年3月期	10,150		7,543		74.3		1,218.00	

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,601百万円 2020年3月期 7,543百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

現段階において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が個別業績に与える影響を合理的に算定することはできないと判断し、2022年3月期の個別業績予想につきましては、未定とさせていただきます。今後、業績への影響が合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2021年6月16日に決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)の開催を予定しております。ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては決算説明会を延期もしくは中止する場合がございます。決算補足説明資料につきましては、当社ホームページ(<http://www.sankosangyo.co.jp>)で掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(当連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による消費活動の著しい停滞等を背景に、極めて厳しい状況にあります。二度にわたる緊急事態宣言と解除に伴い、経済活動のレベルが段階的に引き上げられていく中、個人消費や輸出、生産を中心に持ち直しの動きも見られるものの、変異株の発生による感染収束の長期化や感染の再拡大が発生しており、今後の景気動向については先行き不透明な状況が続いております。

印刷業界においては、日本国内においては印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落、また、海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大により業績の見通しが立たない中、「新・中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）」二年目にあたり、「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を経営の基本方針に掲げ、成長に向けた新たなチャレンジによる売上の拡大と効率化の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は10,547百万円（前年同期比99.3%）と減少となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は15百万円（前年同期は24百万円の営業損失）となりました。また、受取配当金等の計上及び為替差益等の計上により経常利益を115百万円（前年同期は8百万円の経常損失）としましたが、子会社トムズ・クリエイティブののれん等について減損損失を150百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は133百万円（前年同期は393百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

しかしながら、シール・ラベル製品を中心に減収となったことにより、当連結会計年度の売上高は7,763百万円（前年同期比91.3%）となりました。また利益面については、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント損失は60百万円（前年同期は69百万円のセグメント利益）となりました。なお、日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブであります。

② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内のグローバル営業部及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開をいたしました。この結果、当連結会計年度の売上高は927百万円（前年同期比62.2%）となったものの、セグメント利益は27百万円（前年同期は46百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. 及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図った結果、新型コロナウイルス感染症の拡散による活動制限令及び渡航制限の影響を大きく受けたものの、パネル関連製品を中心に受注が増加し、当連結会計年度の売上高は1,856百万円（前年同期比293.1%）となり、セグメント利益は31百万円（前年同期は65百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産の残高は12,046百万円となり、前連結会計年度末比769百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金が298百万円減少いたしました。また、原材料及び貯蔵品が615百万円、投資有価証券が397百万円増加したことによるものであります。

負債総額は4,233百万円となり、前連結会計年度末比748百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金が100百万円減少いたしました。また、電子記録債務が352百万円、短期借入金が388百万円増加したことによるものであります。

また、純資産総額は7,813百万円となり、前連結会計年度末比21百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純損失の計上並びに親会社による配当金の支払により利益剰余金が164百万円、為替換算調整勘定が91百万円減少いたしました。また、その他有価証券評価差額金が277百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は64.9%（前連結会計年度末は69.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,469百万円（前年同期比38百万円増）となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、147百万円（前年同期比60.8%）となりました。これは税金等調整前当期純損失46百万円（前年同期は386百万円の税金等調整前当期純損失）に非資金損益項目や営業活動に係る資産及び負債の増減等を加減算しております。主な加算要因は、減価償却費156百万円、減損損失150百万円、売上債権の減少額180百万円、仕入債務の増加額421百万円等であり、主な減算要因は、為替差損益94百万円、たな卸資産の増加額488百万円、その他の流動資産の増加額421百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、44百万円（前年同期比17.8%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出38百万円、無形固定資産の取得による支出100百万円等の資金の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、248百万円（前年同期比55.5%）となりました。これは主に、短期借入による収入388百万円等の資金の増加要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、先行き不透明な状況で推移すると予測しております。とりわけ、新型コロナウイルス感染症は世界規模での急速な拡大により世界各国で緊急的な対応に追われており、我が国経済のみならず世界経済への長期的な影響が懸念されております。また、価格競争の激化及び物流コストの上昇、テクノロジーの進化に起因する様々な変革、消費者の価値観変更等により経営環境は大きく変化するものと思われまます。

このような経営環境の中、今後の当社グループにつきましては、自動運転分野など積極的な研究開発投資が行われている新規技術分野における取引の拡大、マニュアル制作分野、臨床試験（治験）における統計解析分野、品質評価分野、日用品分野、ノベルティ分野での顧客開拓を進めるなど、全社的な収益基盤の強化に向けた取り組みを推進してまいります。

次期（2022年3月期）の連結業績見通しといたしましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な資金調達を行っていないこと及び国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,447,366	2,485,328
受取手形及び売掛金	3,406,845	3,108,079
電子記録債権	650,623	736,249
商品及び製品	668,763	497,949
仕掛品	89,202	126,999
原材料及び貯蔵品	112,837	728,536
その他	142,189	602,483
貸倒引当金	△339	△657
流動資産合計	7,517,490	8,284,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,622,586	2,625,554
減価償却累計額	△1,770,532	△1,815,252
建物及び構築物(純額)	852,054	810,302
機械装置及び運搬具	2,418,532	2,295,656
減価償却累計額	△1,991,169	△1,933,927
機械装置及び運搬具(純額)	427,363	361,729
工具、器具及び備品	234,618	232,985
減価償却累計額	△185,724	△190,716
工具、器具及び備品(純額)	48,894	42,269
土地	1,282,457	1,280,637
リース資産	60,681	59,525
減価償却累計額	△34,243	△40,981
リース資産(純額)	26,437	18,543
建設仮勘定	14,937	5,212
有形固定資産合計	2,652,144	2,518,694
無形固定資産		
のれん	164,568	-
ソフトウェア	6,330	4,027
ソフトウェア仮勘定	19,080	117,490
無形固定資産合計	189,978	121,517
投資その他の資産		
投資有価証券	634,086	1,031,993
長期貸付金	8,028	7,232
繰延税金資産	91,608	271
その他	213,376	110,144
貸倒引当金	△29,672	△27,896
投資その他の資産合計	917,428	1,121,746
固定資産合計	3,759,551	3,761,958
資産合計	11,277,041	12,046,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,487,770	2,512,127
電子記録債務	-	352,914
短期借入金	100,000	488,592
未払法人税等	24,831	25,403
賞与引当金	92,000	87,995
工場閉鎖損失引当金	2,443	-
その他	200,886	226,736
流動負債合計	2,907,932	3,693,768
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
退職給付に係る負債	153,051	132,977
その他	24,555	107,132
固定負債合計	577,607	540,109
負債合計	3,485,540	4,233,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,482,924	4,318,913
自己株式	△1,013,866	△1,013,866
株主資本合計	7,597,759	7,433,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,639	506,936
為替換算調整勘定	△35,897	△127,636
その他の包括利益累計額合計	193,742	379,300
純資産合計	7,791,501	7,813,048
負債純資産合計	11,277,041	12,046,927

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	10,624,392	10,547,226
売上原価	※1 8,797,465	※1 8,874,027
売上総利益	1,826,927	1,673,198
販売費及び一般管理費		
役員報酬・給与手当	851,273	799,600
賞与引当金繰入額	62,657	58,982
退職給付費用	5,187	46,011
福利厚生費	167,340	154,984
その他	764,848	629,331
販売費及び一般管理費合計	1,851,306	1,688,910
営業損失(△)	△24,379	△15,712
営業外収益		
受取利息	2,796	1,994
受取配当金	20,989	19,304
貸倒引当金戻入額	5,703	-
受取賃貸料	5,830	5,831
為替差益	-	98,974
その他	18,479	18,210
営業外収益合計	53,799	144,315
営業外費用		
支払利息	72	5,370
賃貸建物減価償却費	543	543
為替差損	35,275	-
延滞税等	-	3,796
支払補償費	-	2,960
その他	2,215	536
営業外費用合計	38,107	13,207
経常利益又は経常損失(△)	△8,687	115,395
特別利益		
固定資産売却益	※2 19,056	※2 1,288
投資有価証券売却益	8	-
特別利益合計	19,064	1,288
特別損失		
固定資産処分損	※3 11,116	※3 4,334
投資有価証券評価損	35,948	-
工場閉鎖損失	※4 259,742	※4 6,565
子会社整理損	-	※5 1,745
減損損失	※6 89,667	※6 150,568
特別損失合計	396,474	163,214
税金等調整前当期純損失(△)	△386,097	△46,530
法人税、住民税及び事業税	8,693	16,191
法人税等調整額	△1,220	70,324
法人税等合計	7,472	86,515
当期純損失(△)	△393,569	△133,045
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△393,569	△133,045

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△393,569	△133,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120,709	277,296
為替換算調整勘定	9,708	△91,738
その他の包括利益合計	△111,000	185,558
包括利益	△504,570	52,512
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△504,570	52,512
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850,750	2,277,951	4,919,844	△1,013,866	8,034,679
当期変動額					
剰余金の配当			△43,350		△43,350
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△393,569		△393,569
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△436,920	-	△436,920
当期末残高	1,850,750	2,277,951	4,482,924	△1,013,866	7,597,759

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	350,349	△45,606	304,742	8,339,422
当期変動額				
剰余金の配当				△43,350
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△393,569
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△120,709	9,708	△111,000	△111,000
当期変動額合計	△120,709	9,708	△111,000	△547,920
当期末残高	229,639	△35,897	193,742	7,791,501

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850,750	2,277,951	4,482,924	△1,013,866	7,597,759
当期変動額					
剰余金の配当			△30,964		△30,964
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△133,045		△133,045
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△164,010	-	△164,010
当期末残高	1,850,750	2,277,951	4,318,913	△1,013,866	7,433,748

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	229,639	△35,897	193,742	7,791,501
当期変動額				
剰余金の配当				△30,964
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△133,045
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	277,296	△91,738	185,558	185,558
当期変動額合計	277,296	△91,738	185,558	21,547
当期末残高	506,936	△127,636	379,300	7,813,048

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△386,097	△46,530
減価償却費	162,751	156,259
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△82,826	△20,074
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,000	△4,005
減損損失	89,667	150,568
のれん償却額	14,960	17,952
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,718	△1,458
受取利息及び受取配当金	△23,785	△21,298
支払利息	-	5,370
為替差損益 (△は益)	-	△94,808
固定資産売却損益 (△は益)	△19,056	△1,288
固定資産処分損益 (△は益)	11,116	4,334
工場閉鎖損失	259,742	6,565
子会社整理損	-	1,745
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	35,939	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△320,836	180,235
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△334,584	△488,341
破産債権の増減額 (△は増加)	△115	1,777
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	228,209	△432,357
仕入債務の増減額 (△は減少)	432,936	421,939
未払金の増減額 (△は減少)	△56,074	14,318
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△30,213	20,002
その他	△37,203	△22,952
小計	△70,188	△152,044
利息及び配当金の受取額	23,785	21,298
利息の支払額	-	△4,809
工場閉鎖損失の支払額	△169,608	△5,812
法人税等の支払額	△26,459	△5,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	△242,470	△147,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△250,412	△38,197
有形固定資産の売却による収入	19,521	2,556
無形固定資産の取得による支出	△20,746	△100,341
投資有価証券の取得による支出	△10,298	△9,470
投資有価証券の売却による収入	767	-
貸付けによる支出	△1,500	△2,500
貸付金の回収による収入	6,940	3,296
保険積立金の解約による収入	-	100,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	6,259	-
その他	△996	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,465	△44,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	388,592
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	-	△100,000
親会社による配当金の支払額	△42,633	△31,547
その他	△9,400	△8,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	447,966	248,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,203	△18,410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,766	38,589
現金及び現金同等物の期首残高	2,448,852	2,431,085
現金及び現金同等物の期末残高	2,431,085	2,469,674

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

※1 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損（洗替え法による戻入額相殺後の額）が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
	△38,546千円	2,578千円

※2 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
機械装置及び運搬具	12,052千円	1,276千円
工具、器具及び備品	7,003	11
計	19,056	1,288

※3 固定資産処分損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
機械装置及び運搬具	9,719千円	1,215千円
建物及び構築物	1,200	-
工具、器具及び備品	197	562
リース資産	-	922
ソフトウェア	-	1,633
計	11,116	4,334

※4 工場閉鎖損失

前連結会計年度において、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司の工場閉鎖に伴い発生したものであります。

当連結会計年度において、連結子会社サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTDの工場閉鎖に伴い発生したものであります。

※5 子会社整理損

当連結会計年度において、連結子会社サンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTDの解散に伴い発生したものであります。

※6 減損損失

前連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(1) 減損損失を認識した資産グループの概要

区 分	場 所	用 途	種 類
サンコウサンギョウ (バンコク) C O . , L T D .	タイ王国	特殊印刷用生産設備	建物、機械、その他

(2) 減損損失に至った経緯

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスの為、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失の金額

種 類	金 額 (千円)
建 物 及 び 構 築 物	9,067
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	78,063
工 具 器 具 備 品	2,205
ソ フ ト ウ エ ア	330
合 計	89,667

(4) 資産のグルーピングの方法

当社グループはキャッシュ・フローを生み出す最小単位としてグループ内の会社を基礎としてグルーピングしております。

(5) 回収可能価額の算定方法

資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は処分見込額等合理的な見積りにより評価しております。

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(1) 減損損失を認識した資産グループの概要

区 分	場 所	用 途	種 類
株式会社トムズ・クリエイティブ	東京都渋谷区	企画・販売等	のれん、その他

(2) 減損損失に至った経緯

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスの為、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失の金額

種 類	金 額 (千円)
工 具 器 具 備 品	3,085
ソ フ ト ウ エ ア	866
の れ ん	146,615
合 計	150,568

(4) 資産のグルーピングの方法

当社グループはキャッシュ・フローを生み出す最小単位としてグループ内の会社を基礎としてグルーピングしております。

(5) 回収可能価額の算定方法

資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は処分見込額等合理的な見積りにより評価しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売を行っており、日本においては当社が、海外においては中国とアセアンの現地法人が、それぞれの拠点を担当しております。

現地法人は、それぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、当社グループは、これらの拠点別を基礎とした地域別セグメントから構成されております。

したがって、これらの拠点における販売市場をそれぞれ別個のセグメントとして捉え、「日本」、「中国」、「アセアン」の3つを報告セグメントとしております。

なお、日本セグメントでは、特殊印刷製品の企画並びに製造、販売のほか、ノベルティグッズ等の企画、販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、重要な資産の評価基準、評価方法、減価償却方法及び引当金の計上基準等の会計方針に関する事項を記載しております「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	日本	中国	アセアン	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,500,387	1,490,666	633,338	10,624,392	-	10,624,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,536,297	1,336,496	10,551	2,883,345	△2,883,345	-
計	10,036,684	2,827,163	643,890	13,507,737	△2,883,345	10,624,392
セグメント利益又は損失(△)	69,060	△46,304	△65,540	△42,784	18,404	△24,379
セグメント資産	7,559,712	1,225,091	675,107	9,459,911	1,817,130	11,277,041
その他の項目						
減価償却費	129,225	251	33,434	162,911	△159	162,751
のれん償却額	14,960	-	-	14,960	-	14,960
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	329,728	-	91,638	421,366	149	421,516

(注) 調整額は以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失(△)の調整額18,404千円には、セグメント間取引に係るたな卸資産等の調整額が含まれております。
2. セグメント資産の調整額1,817,130千円には、当社の金融資産2,095,519千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去△278,389千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	日本	中国	アセアン	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,763,317	927,841	1,856,067	10,547,226	-	10,547,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,322,614	2,774,638	20,603	4,117,855	△4,117,855	-
計	9,085,931	3,702,479	1,876,670	14,665,081	△4,117,855	10,547,226
セグメント利益又は損失(△)	△60,611	27,532	31,650	△1,427	△14,284	△15,712
セグメント資産	8,004,412	1,328,950	1,582,535	10,915,898	1,131,028	12,046,927
その他の項目						
減価償却費	134,715	180	21,503	156,399	△139	156,259
のれん償却額	17,952	-	-	17,952	-	17,952
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	127,394	-	11,763	139,158	△1,870	137,287

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- セグメント利益又は損失(△)の調整額14,284千円には、セグメント間取引に係るたな卸資産等の調整額が含まれております。
- セグメント資産の調整額1,131,028千円には、当社の金融資産2,636,339千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去△1,505,310千円が含まれております。
- セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	特殊印刷製品	ノベルティグッズ等	合計
外部顧客への売上高	10,272,328	352,063	10,624,392

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
7,036,468	2,162,913	1,425,009	10,624,392

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
2,358,846	232	293,064	2,652,144

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	特殊印刷製品	ノベルティグッズ等	合計
外部顧客への売上高	10,008,594	538,631	10,547,226

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
6,261,926	1,781,773	2,503,525	10,547,226

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
2,247,887	107	270,699	2,518,694

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
SONY TECHNOLOGY (THAILAND) CO., LTD	1,755,260	日本、アセアン

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
-	-	89,667	89,667

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
150,568	-	-	150,568

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	日本	中国	アセアン	合計
当期償却額	14,960	-	-	14,960
当期末残高	164,568	-	-	164,568

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	日本	中国	アセアン	合計
当期償却額	17,952	-	-	17,952
当期末残高	-	-	-	-

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,258.12円	1,261.60円
1株当たり当期純損失(△)	△63.55円	△21.48円

(注) 1. 当連結会計年度及び前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△393,569	△133,045
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△393,569	△133,045
期中平均株式数(千株)	6,192	6,192

(重要な後発事象)

該当事項はありません。